

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号
特表2002-532981
(P2002-532981A)

(43) 公表日 平成14年10月2日 (2002.10.2)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テマコード* (参考)
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 J 3/00	B 5 K 0 2 8
H 0 4 J 3/00		H 0 4 L 7/08	A 5 K 0 4 7
// H 0 4 L 7/08		H 0 4 B 7/26	1 0 9 M 5 K 0 6 7

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 24 頁)

(21) 出願番号 特願2000-587547(P2000-587547)
(86) (22) 出願日 平成11年10月16日 (1999.10.16)
(85) 翻訳文提出日 平成13年6月8日 (2001.6.8)
(86) 国際出願番号 PCT/DE 99/03328
(87) 国際公開番号 WO 00/35214
(87) 国際公開日 平成12年6月15日 (2000.6.15)
(31) 優先権主張番号 198 56 440.6
(32) 優先日 平成10年12月8日 (1998.12.8)
(33) 優先権主張国 ドイツ (DE)
(81) 指定国 EP (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), JP, US

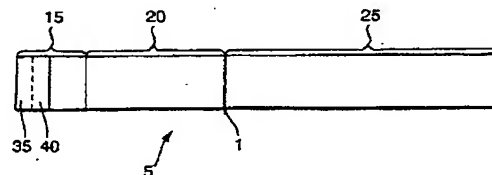
(71) 出願人 ローベルト ボツシュ ゲゼルシャフト
ミット ベシユレンクテル ハフツング
ROBERT BOSCH GMBH
ドイツ連邦共和国 シュツツガルト
(番地なし)
(72) 発明者 マルティン ハンス
ドイツ連邦共和国 ヒルデスハイム ハン
ゼリング 1 ベー
(72) 発明者 フランク コワレウスキ
ドイツ連邦共和国 ザルツギッター シー
ルケ 16
(74) 代理人 弁理士 矢野 敏雄 (外4名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 伝送フレーム及び伝送フレームを有する無線ユニット

(57) 【要約】

例えば無線通信ネットワークなどの通信ネットワーク (10) におけるショートメッセージ (5) の伝送用に用いられる伝送フレーム (1) と、伝送フレーム (1) を有する通信装置 (60, 65, 70) を提案する。この伝送フレーム (1) により、通信ネットワーク (10) におけるショートメッセージ (5) の特にフレキシブルな伝送が可能である。その際、少なくとも2つのデータフィールド (15, 20, 25, 30) が設けられている。これらのデータフィールド (15, 20, 25, 30) には1つのショートメッセージ (5) のデータが格納されている。第1のデータフィールド (15) には第1のデータフォーマットのデータが格納されており、第2のデータフィールド (20) には第1のデータフォーマットとは異なる第2のデータフォーマットが格納されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 例えば無線通信ネットワークなどの通信ネットワーク（10）におけるショートメッセージ（5）の伝送用伝送フレームにおいて、少なくとも2つのデータフィールド（15, 20, 25, 30）が設けられており、

これらのデータフィールド（15, 20, 25, 30）には1つのショートメッセージ（5）のデータが格納されており、

第1のデータフィールド（15）には第1のデータフォーマットのデータが格納されており、第2のデータフィールド（20）には該第1のデータフォーマットとは異なる第2のデータフォーマットが格納されていることを特徴とする、伝送フレーム。

【請求項2】 前記第1のデータフィールド（15）内に、ショートメッセージ（5）の構成を表す第1の識別子（35）が設けられている、請求項1記載の伝送フレーム（1）。

【請求項3】 前記第1の識別子（35）がデータフィールド（15, 20, 25, 30）の数及び／又はデータフィールド（15, 20, 25, 30）におけるデータフォーマット及び／又はデータフィールド（15, 20, 25, 30）の大きさに関する記載を含む、請求項2記載の伝送フレーム（1）。

【請求項4】 前記第1のデータフィールド（15）に、ショートメッセージ（5）の内容を表す第2の識別子（40）が設けられている、請求項1～3のいずれか1項記載の伝送フレーム。

【請求項5】 前記第2の識別子（40）が、データフィールド（15, 20, 25, 30）に格納されたデータの、例えば音声データ又は画像データのようデータ形式に関する記載を含む、請求項4記載の伝送フレーム（1）。

【請求項6】 前記第1のデータフィールド（15）のみがその大きさに關して所定の値に制限されていることを特徴とする、請求項1～5のいずれか1項記載の伝送フレーム（1）。

【請求項7】 少なくとも2つのデータフィールド（15, 20, 25, 30）に、それぞれ1つのデータフィールド特有の識別子（45, 50, 55, 7

5) が設けられており、該識別子は相応するデータフィールド(15, 20, 25, 30)の構成及び/又は内容を表すことを特徴とする、請求項1~6のいずれか1項記載の伝送フレーム(1)。

【請求項8】 前記第1のデータフィールド(15)に格納されたデータが、通信ネットワーク(10)の全ての加入者によって読み取り可能なデータフォーマットで存在することを特徴とする、請求項1~7のいずれか1項記載の伝送フレーム(1)。

【請求項9】 前記第1のデータフィールド(15)に格納されたデータが、例えばGSM-SMSフォーマット(Global System for Mobile Communications - Short Message Service)によるテキストフォーマットの中に存在することを特徴とする、請求項1~8のいずれか1項記載の伝送フレーム(1)。

【請求項10】 前記データフィールド(15, 20, 25, 30)のうちの1つに、複数のデータフォーマットのデータが格納されていることを特徴とする、請求項1~9のいずれか1項記載の伝送フレーム(1)。

【請求項11】 各データフィールド(15, 20, 25, 30)において、唯一のデータフォーマットのデータのみが格納されていることを特徴とする、請求項1~10のいずれか1項記載の伝送フレーム(1)。

【請求項12】 例えば無線通信ネットワークのような通信ネットワーク(10)におけるショートメッセージ(5)の伝送のための伝送フレーム(1)を有する、例えば無線ユニットなどの通信装置(60, 65, 70)において、該伝送フレーム(1)に少なくとも2つのデータフィールド(15, 20, 25, 30)が設けられており、
該データフィールド(15, 20, 25, 30)にはショートメッセージ(5)のデータが格納されており、
第1のデータフィールド(15)には第1のデータフォーマットのデータが格納されており、第2のデータフィールド(20)には第1のデータフォーマットとは異なる第2のデータフォーマットのデータが格納されていることを特徴とする、通信装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

本発明は、独立請求項の上位概念に記載の伝送フレームと、伝送フレームを有する通信装置に関する。

【0002】

ショートメッセージを伝送するためのショートメッセージサービスが公知である。ショートメッセージサービスとは、通信ネットワークの加入者に、予めこのネットワークと通信コネクションを確立する必要なくショートメッセージを送信するものである。これは特に移動無線システムにおいて重要であり、その理由は、このシステムにおいては加入者は頻繁に接続不能になるためである。この場合、到来したショートメッセージは通信ネットワークのネットワークプロバイダによって記憶され、それより後の時点にアドレス指定された加入者宛に伝達される。加入者は自分宛のショートメッセージの着信を知らされるので、そのショートメッセージをネットワークプロバイダからダウンロードできる。

【0003】

ショートメッセージサービスの一例として、GSM標準 (Global System for Mobile Communications) によるショートメッセージサービス (SMS) がある。このショートメッセージサービスは、160個までの7ビットASCIIテキスト記号 (American Standard Code for Information Interchange) を用いたショートメッセージを伝送するための伝送フレームを予め定めている。

【0004】

より長いテキストの伝送は、ショートメッセージをつなぎ合わせることで可能となる。このショートメッセージサービスにより、簡単な移動無線端末機器によってもショートメッセージの作成と読み取りが可能となる。このGSM標準においてはショートメッセージのテキスト伝送しか行われないので、音声データや画像データ等のバイナリデータの伝送においては、これらのデータをテキストフォーマットに変換し、その受信後に再度バイナリフォーマットに変換し直さなくてはならない。

【0005】

それに対し、独立請求項の構成を有する本発明の伝送フレームおよび本発明の通信装置の利点は、少なくとも2つのデータフィールドが設けられ、これらのデータフィールドにショートメッセージのデータが格納されており、第1のデータフィールドの中に第1のデータフォーマットのデータが格納されており、第2のデータフィールドの中に第1のデータフォーマットとは異なる第2のデータフォーマットが格納されているという点である。これにより、種々異なるデータを含むショートメッセージを、唯一の伝送フレームにおいて伝送できる。このようにして、例えばテキストデータ、音声データ、画像データ等の種々異なる媒体を簡単に一つのショートメッセージに統合することができるため、マルチメディア・ショートメッセージを形成することができる。

【0006】

また有利には、伝送フレームの長さが制限されておらず、任意のデータフィールドをデータフレーム内に並べて伝送できる。

【0007】

さらに有利には、これらのデータフィールドを互いに並べることにより、テキストデータ、音声データ又は画像データを有する個々のデータフィールド又は媒体のデータを簡単に分離したりダウンロードすることが可能になる。これにより、ショートメッセージの実際に必要な部分だけを通信ネットワークのネットワークプロバイダからダウンロードすればよいので、伝送容量の節減が可能となる。

【0008】

従属請求項に記載の構成により、独立請求項1に記載の伝送フレームのその他の有利な構成及び改良が可能である。

【0009】

特に有利なのは、第1のデータフィールドにショートメッセージの構成及び／又は内容を表す第1の識別子を設けるという点である。これにより、ショートメッセージの宛先として指定された加入者は、通信ネットワークのネットワークプロバイダからアドレス指定された加入者に向けた第1のデータフィールドのみの伝送により、特に容易にショートメッセージの構成及び／又は内容について知ることができる。その後この情報に基づき、アドレス指定された加入者の側で、

このショートメッセージのどの部分又はデータフィールドを通信ネットワークのネットワークプロバイダからダウンロードしたいかを決定することができる。

【0010】

また有利には、第1のデータフィールドの大きさが所定値に制限されている。そのため、ショートメッセージの受信容量が制限されている加入者も、ショートメッセージ全体の構成及び／又は内容について第1のデータフィールドの伝送により知ることができる。

【0011】

さらに有利には、ショートメッセージの全長は制限されていない。

【0012】

また有利には、少なくとも2つのデータフィールドにおいてそれぞれデータフィールド特有の、相応するデータフィールドの構成及び／又は内容を表す識別子が設けられている。このようにすれば、ショートメッセージ全体の構成及び／又は内容の通知もまた、全てのデータフィールド特有の識別子をまとめることにより生成され、アドレス指定された加入者に送信することが可能となるため、この第1のデータフィールドは、特にその大きさが制限される場合、識別子データで過剰に満たされることがない。

【0013】

このデータフィールド特有の識別子により、アドレス指定された加入者はそれに属するデータフィールドのダウンロードの際、ネットワークプロバイダからさらに詳しくこのデータフィールドに関する情報を得ることができるため、例えばこのデータフィールドを用いて伝送されたデータを再生する際、より高い再生可能性が得られる。

【0014】

特に有利には、この第1のデータフィールドに格納されたデータは、通信ネットワークの全ての加入者によって読み取り可能なデータフォーマットの中に存在する。このようにして、ショートメッセージは少なくとも部分的に通信ネットワークの全ての加入者に送信可能である。また全ての加入者は、たとえ自分宛のショートメッセージの所定のデータフィールドを読むことができなくても、ネット

ワークプロバイダのもとにある自分宛のショートメッセージについて少なくとも知ることができる。

【0015】

本発明の実施例を図面に記載し、以下詳細に説明する。図1は通信ネットワークにおけるショートメッセージの伝送のためのブロック回路図を示し、図2は伝送フレームの一般的構成を示し、図3は伝送フレームの構成の具体例を示す。

【0016】

図1において、60は通信ネットワーク10の第1の加入者を、65は第2の加入者を示す。この通信ネットワーク10は、特に無線通信ネットワーク、例えば移動無線ネットワークとして構成されている。この第1の加入者60と第2の加入者65は、それぞれ通信機器として、特に、例えば移動無線装置、業務用無線装置、携帯無線装置等として構成されている。また図1においては、通信ネットワーク10のネットワークプロバイダ70が記載されており、これも同様に通信機器、特にとして構成することができる。

【0017】

第2の加入者65の側では、第1の加入者60に対するショートメッセージ5を作成し、相応のアドレス指定により通信ネットワーク10を介してネットワークプロバイダ70に送信する。ネットワークプロバイダ70はこのショートメッセージ5を記憶し、第1の加入者60へ、この加入者宛のショートメッセージ5の存在を知らせるメッセージを送信する。このメッセージは第1の加入者60に、例えばネットワークプロバイダ70が第1の加入者60の起動を検出した時に送信することができる。第1の加入者60が上記のメッセージの受信後、ショートメッセージ5の伝送をネットワークプロバイダ70に要求すると、ネットワークプロバイダ70はまず最初に第1の加入者60に、ショートメッセージ5の構成及び／又は内容を知らせる通知を送信する。第1の加入者60は、その後このショートメッセージ5を一部又は全てネットワークプロバイダ70からダウンロードするので、このショートメッセージ5は、一部又は全てネットワークプロバイダ70から第1の加入者60に伝送される。

【0018】

図2に、このようなショートメッセージ5の構成を図示する。ここでショートメッセージ5は、伝送フレーム1において第2の加入者65からネットワークプロバイダ70に伝送される。この伝送フレーム1には、第1のデータフィールド15、第2のデータフィールド20、場合によっては第3のデータフィールド25と第4のデータフィールド30が含まれる。第1のデータフィールド15には、ショートメッセージ5の構成を表す第1の識別子35が含まれる。さらに第1のデータフィールド15には、ショートメッセージ5の内容を表す第2の識別子40が設けられている。これらの第1の識別子35と第2の識別子40を、ショートメッセージ5の構成及び／又は内容を表す唯一の識別子にまとめることもできる。さらに第1のデータフィールド15には、第1のデータフォーマットのデータが格納されている。第2のデータフィールド20には、第1のデータフォーマットとは異なる第2のデータフォーマットのデータが格納されている。必要に応じて設けられるその他のデータフィールド25、30にも同様にデータが格納されており、そのデータフォーマットは第1のデータフィールド15又は第2のデータフィールド20のデータフォーマットと異なったものとすることもできるが、必ずしもそうする必要はない。2つよりも多くのデータフィールドが伝送フレーム1内に設けられていれば、それらのデータフィールドのうち少なくとも2つのデータフィールドの中にそれぞれ異なるフォーマットのデータが格納されており、伝送フレーム1の中のこれらのデータフィールドの位置は問題にならない。

【0019】

図2の点線で示しているのは、第1のデータフィールド15が付加的に第1のデータフィールド15の構成及び／又は内容を表す第1のデータフィールド特有の識別子45を含むことができるということである。これに相応して、第2のデータフィールド20は第2のデータフィールド20の構成及び／又は内容を表す第2のデータフィールド特有の識別子50を含むことができる。相応して、第3のデータフィールド25は第3のデータフィールド25の構成及び／又は内容を表す第3のデータフィールド特有の識別子55を含むことができ、第4のデータフィールド30は第4のデータフィールド30の構成及び／又は内容を表す第4

のデータフィールド特有の識別子75を含むことができる。

【0020】

第1の識別子35は、ショートメッセージ5の中のデータフィールド15, 20, 25, 30の数に関する記載を含むことができる。付加的又は選択的に第1の識別子35は、データフィールド15, 20, 25, 30の中に格納されたデータのデータフォーマットに関する記載を含むことができる。付加的又は選択的に、データフィールド15, 20, 25, 30の大きさに関する記載も第1の識別子35の中に含めることができる。また第2の識別子40は、データフィールド15, 20, 25, 30の中に格納されたデータのデータ形式に関する記載を含むことができる。従って第2の識別子40は、例えば一つのデータフィールドの中に音声データが格納されているのか、又は画像データが格納されているかということに関する記載を含むことができる。

【0021】

ネットワークプロバイダ70が第1の加入者60の要求を受けて、第1の識別子35と第2の識別子40を有する第1のデータフィールド15を第1の加入者60に伝達するように構成することができるため、第1の加入者60は、第1の識別子35と第2の識別子40において伝送されるショートメッセージ5の構成及び／又は内容に関する情報に基づいて、ショートメッセージ5のどのデータフィールドを第1の加入者の機能に基づきネットワークプロバイダ70からダウンロード及び／又は再生できるか、調べることができる。また第1の加入者60の側では、ショートメッセージ5の読み取り可能な全てのデータフィールドに関心があるわけではなく、伝送容量を節減すべき時は、ショートメッセージ5のどの読み取り可能なデータフィールドをネットワークプロバイダ70からダウンロードすべきかという決定を下すことができる。第1の加入者60の要求に従って第1の識別子35と第2の識別子40を有する第1のデータフィールド15全体が第1の加入者60に伝送されるべき時は、第1のデータフィールド15に格納されたデータが、通信ネットワーク10の全ての加入者によって読み取り可能なデータフォーマットで存在することが、できる限り保証されていなくてはならない。このことは特に、第1のデータフィールド15に格納されているデータが、第

1の識別子35と第2の識別子40におけるデータと共にテキストフォーマットで存在する時に得られる。その際、例えばGSM標準 (Global System for Mobile Communication) によるSMSフォーマット (Short-Message-Service) が提供されるが、これは、GSMシステムの要求に従い構成された通信ネットワークにおいて、GSM標準に従って構成されたこの通信ネットワークの加入者もしくは移動無線装置により読み取り可能なためである。その際第1のデータフィールド15は、SMSショートメッセージサービスのためにGSM標準に従ってこれまで既に規定されたデータフィールドに相当し、その大きさは160個の7ビットASCIIテキスト記号 (American Standard Code for Information Interchange) に制限されている。その他のデータフィールド20, 25, 30の大きさは制限する必要はない。

【0022】

テキストフォーマットの代案として、同様に通信ネットワーク10のあらゆる加入者によって読み取り可能な第1のデータフィールド15用のその他のデータフォーマットは、既知のデータフォーマットを含み通信ネットワーク10のあらゆる加入者に既知であるような表のエントリに対する参照により二進符号化されたものである。

【0023】

第1のデータフィールド15に格納されるデータの少なくとも一部、たとえば第1の識別子35のデータ及び／又は第2の識別子40のデータは、表のエントリの指標を表す二進符号値からなる。これらの表においては、公知のデータ形式及び／又は、例えば音声及び／又はビデオフォーマットの様なデータフォーマットがこれらの指標に割り当てられる。

【0024】

データフィールド特有の識別子45, 50, 55, 75もまた、それぞれ属しているデータフィールド15, 20, 25, 30におけるデータフォーマット及び／又はそれぞれ属しているデータフィールド15, 20, 25, 30の大きさ及び／又はそれぞれ属しているデータフィールド15, 20, 25, 30におけるデータ形式に関するデータを含んでいる。もし第1のデータフィールド15に

GSM-SMS-テキストフォーマットによるデータが存在し、このデータフィールドが例えば160個の7ビットASCIIテキスト記号に制限されていると決められていれば、第1のデータフィールド特有の識別子45を無くすことも可能である。各データフィールド15、20、25、30に、唯一のデータフォーマットのデータのみが格納されているように構成することも可能である。少なくとも1つのデータフィールド、特に第2のデータフィールド20及び／又は場合によっては1つ又は複数のその他のデータフィールド25、30に、複数のデータフォーマットのデータを格納するように構成することもまた可能である。もちろん、ショートメッセージ5が図2に図示された4個のデータフィールドよりも多くのデータフィールドを含むように構成することも可能である。

【0025】

第1の加入者60の要求に応じこの加入者に向けた、ショートメッセージ5の構成及び／または内容に関するネットワークプロバイダ70による通知は、ネットワークプロバイダ70がデータフィールド特有の識別子45、50、55、75の評価により作成し、その後第1の加入者60に送信するように構成することもできるので、この場合第1の識別子35と第2の識別子40は必要ではなく、第1のデータフィールド15もまた第1の加入者60に送信される必要はない。しかしこのようにして生成されたショートメッセージ5の構成及び／または内容に関する通知は、同様に通信ネットワーク10の全ての加入者によって読み取り可能なデータフォーマットにおいて第1の加入者60に送信することが可能であり、そのために例えば再度GSM-SMS-テキストフォーマットを、例えば160個の7ビットASCIIテキスト記号を有するデータフィールドを使用して設けることができる。

【0026】

次に図3に基づき、ショートメッセージ5の伝送フレーム1の具体例を記載する。ショートメッセージ5は、ここではマルチメディア・ショートメッセージとして構成されている。図3の参照符号は、図2のものと同様の構成要素を示している。この図3においては、伝送フレーム1内に第1のデータフィールド15、第2のデータフィールド20及び第3のデータフィールドが設けられている。各

データフィールド15, 20, 25におけるデータフィールド特有の識別子は設けられていない。第1のデータフィールド15は、ここではASCIIテキストフォーマットにおけるテキストデータを含み、第2のデータフィールド20は例えばWAVフォーマット (Wave) による音声データを含み、第3のデータフィールド25は、例えばGIFフォーマット (Graphic Interchange Format) による画像データを含んでいる。このテキストデータを有する第1のデータフィールド15は、GSM-SMS-ショートメッセージサービスに応じてテキストフォーマット化される。図3における第1の識別子35と第2の識別子40との間の点線は、第1の識別子35と第2の識別子40を1つの共通識別子にまとめることが可能であることを示している。このような共通識別子35, 40は、データフィールド15, 20, 25の数を示し、第2のデータフィールド20と第3のデータフィールド25の内容及び大きさを示している。従ってこの共通識別子35, 40は、以下の様になる。

「Multipart/2/Audio/7654/Image/12345」

【0027】

この共通の識別子35, 40は、キーワード「Multipart」による複数のデータフィールドよりなるショートメッセージがあることを示している。数字「2」は、テキストデータと160個の7ビットASCIIテキスト記号の長さとを有する常に存在する第1のデータフィールド15のほかに、2つのその他のデータフィールド20, 25がショートメッセージ5の伝送フレーム1の中に存在することを示している。この共通識別子35, 40における第1のデータ形式として、ここでは「Audio」とされているので、この共通識別子35, 40からは、第2のデータフィールド25に格納されているデータが音声データであることが分かる。第2のデータ形式としては、共通識別子35, 40におけるデータ形式を「Image」としたので、この共通識別子35, 40からは、この第3のデータフィールド25に格納されているデータが画像データであることが分かる。このデータ形式に続き、共通識別子35, 40においてはそれぞれ属しているデータフィールド20, 25の大きさが示されているので、この共通識別子35, 40からは第2のデータフィールド20において伝送された、7654バイトの音声デ

ータを有する音声ファイルと、第3のデータフィールド25において伝送された、12345バイトの画像データを有する画像ファイルの長さが分かる。共通識別子35, 40において、第1のデータフィールド15のための記載は何も必要ない。それというのも、この記載した例においては常に、GSM-SMS-テキストフォーマットと互換性があり、その数が160個の7ビットASCIIテキスト記号に制限されているテキストデータが問題になっているからである。付加的に、共通識別子35, 40が第2のデータフィールド20と第3のデータフィールド25におけるデータ用のデータフォーマットも記載するように構成することもできる。第2のデータフィールド20における音声データのために、共通識別子35, 40においてデータフォーマットとしてWAVフォーマットを記載することも可能である。第3のデータフィールド25における画像データのために、共通識別子35, 40においてデータフォーマットとしてGIFフォーマットを記載することもできる。上記の共通識別子35, 40の「Audio」と「Image」という記載が、同時に相応するデータフィールド20, 25に格納されたデータのフォーマットも記述するように構成することもまた可能である。その際例えば、音声データが常に所定のフォーマット、例えばWAVフォーマットにおいて、また画像データも同様に常に所定のフォーマット、例えばGIFフォーマットにおいて、伝送フレーム1の相応するデータフィールドに存在することが前提となっている。

【0028】

上記のように、通信ネットワーク10の全ての加入者に既知の表に関するデータ形式及び/又はデータフォーマットを、例えば二進符号を用いて符号化することも可能である。データ形式用の第1の表において、例えばデータ形式「テキストデータ」は数字の「1」に、データ形式「音声データ」は数字の「2」に、データ形式「画像データ」は数字の「3」に、データ形式「ビデオデータ」は数字の「4」に割り当てられており、これらの数字は相応して二進符号化することができる。データ形式「音声データ」のデータフォーマット用の第2の表において、例えばデータフォーマット「WAV」は数字の「1」に、データフォーマット「G.723」は数字の「2」に、データフォーマット「G.728」は数字の「3」に、データフ

フォーマット「MPEG-Audio」(Motion Picture Expert Group)は数字の「4」に、データフォーマット「AMR」(Adaptive Multi Rate)は数字の「5」に属しており、これらの数字はここでもまた相応して二進符号化できる。データ形式「画像データ」のデータフォーマット用の第3の表において、例えばデータフォーマット「GIF」は数字の「1」に、データフォーマット「JPEG」(Joint Picture Expert Group)は数字の「2」に、データフォーマット「BMP」(Bitmap)数字の「3」に属しており、これらの数字もまた相応して二進符号化できる。

【0029】

この共通識別子35, 40は、以下の様な形態になる。

2/2/1/3/1

【0030】

この共通識別子35, 40は、上記のテキストフォーマットにおいて記載したことと同様の事項を示している。ここでは共通識別子35, 40の第1の数字「2」は、第1のデータフィールド15に付随して存在する、ショートメッセージ5の伝送フレーム1におけるデータフィールドの数を示す。共通識別子35, 40の第2の数字「2」は、データ形式用の第1の表の中でデータ形式「音声データ」を示し、従って、第2のデータフィールド20には音声データが格納されていることを示している。共通識別子35, 40の第3の数字「1」は、データ形式「音声データ」のデータフォーマット用の第2の表の中で「WAV」データフォーマットを示し、第2のデータフィールド20に格納されたデータが「WAV」データフォーマットの中にあることを示している。共通識別子35, 40の第4の数字「3」は、データ形式用の第1の表の中でデータ形式「画像データ」を示し、従って、第3のデータフィールド25に画像データが格納されていることを示している。共通識別子35, 40の第5の数字「1」は、データ形式「画像データ」のデータフォーマット用の第3の表の中で「GIF」データフォーマットを示し、第3のデータフィールド25に格納されたデータが「GIF」データフォーマットの中にあることを示している。

【0031】

第1の加入者60に伝達された共通識別子35, 40に基づき、加入者の側で

、ネットワークプロバイダ70からの第2のデータフィールド20及び／又は第3のデータフィールド25のダウンロードが有意義であるか、又はこれを希望するかどうかを決定することができる。第1の加入者60が聞くことができない状態にある場合、即ち音声データの処理や再生が不可能である場合は、第2のデータフィールド20からなる音声データのネットワークプロバイダ70からのダウンロードは無意味である。第1の加入者60が見ることができない状態にある場合、即ち第1の加入者60の側で画像データの処理や再生が不可能である場合は、第3のデータフィールド25からなる画像データのネットワークプロバイダ70からのダウンロードは、同様に無意味である。

【0032】

ネットワークプロバイダ70によってダウンロードされたショートメッセージ5の伝送フレーム1のデータフィールドを選択するために、共通識別子35, 40を第1の加入者60の表示装置に表示するように構成することも可能である。

【0033】

ショートメッセージ5は、ちょうど2つのデータフィールド15, 20からなる伝送フレーム1も含むことができるが、上述のように、第1のデータフィールドには共通識別子35, 40を有するテキストデータが存在し、第2のデータフィールド20には複数のデータ形式又は媒体がまとめられている。しかし、ショートメッセージ5において伝送されるべきN個のデータ形式又は媒体を、ショートメッセージ5の伝送フレーム1におけるN個若しくはN+1個のデータフィールドに分割するよう構成することもまた可能である。第1の加入者は、ショートメッセージ5の全てのデータフィールドを、個々に又は共にネットワークプロバイダ70からダウンロードすることができる。

【0034】

第1の加入者60の側では、既に、伝送された共通識別子35, 40の評価を行うこともできるので、第1の加入者60の表示装置において、ショートメッセージ5のどのデータフィールドが、第1の加入者60の機能に基づきネットワークプロバイダ70からダウンロードできるのか表示される。

【0035】

第2の加入者65は、上記の伝送フレーム1においてショートメッセージ5を生成する。第2の加入者65側の伝送フレームの生成は、ここでは単純に各データフィールド15, 20, 25, 30をつなぎ合わせて、場合によってはデータフィールドに特有の識別子45, 50, 55, 75のうちの各1個を追加して行うことができる。またネットワークプロバイダ70は、記述された伝送フレーム1におけるショートメッセージ5を受信して記憶する。第1の加入者60が相応する機能を有していれば、この伝送フレーム1を完全にネットワークプロバイダ70からダウンロードし、第1の加入者60に伝送するように構成することもできる。この場合、第1の加入者60は記述された伝送フレーム1におけるショートメッセージ5を受信し、これを場合によっては保存する及び／又は視覚的及び／又は聴覚的に再生する。第1の加入者60は、伝送フレーム1の少なくともいくつかのデータフィールドを受信し、これを場合によっては保存する及び／又は視覚的及び／又は聴覚的に再生する。ネットワークプロバイダ70及び第1の加入者60の側で受信されたデータフィールド15, 20, 25, 30の評価は、例えばデータフィールドに特有の識別子45, 50, 55, 75に基づいて行うことができるが、これはこれらの識別子がそれらに属するデータフィールド15, 20, 25, 30とともに伝送されるか、又は、場合によって伝送される第1の識別子35及び／又は第2の識別子40に基づいて伝送される場合である。

【0036】

本発明の伝送フレーム1は、無線通信ネットワークにおける使用に限定されるものではなく、有線の通信ネットワーク10に適用することも可能である。この場合は、加入者60, 65とネットワークプロバイダ70もまた有線で結ばれる。両加入者60, 65のうち一方を、有線の通信ネットワークを介して、両加入者60, 65のうちの他方を無線通信ネットワーク10を介してネットワークプロバイダ70と接続するよう構成することも可能であるため、伝送フレーム1は有線通信ネットワーク10におけるショートメッセージ5の伝送にも、無線通信ネットワーク10におけるショートメッセージ5の伝送にも適している。

【図面の簡単な説明】

【図1】

通信ネットワークにおけるショートメッセージの伝送のためのブロック図である。

【図2】

伝送フレームの一般的構成を示す図である。

【図3】

伝送フレームの構成の具体例を示す図である。

【図1】

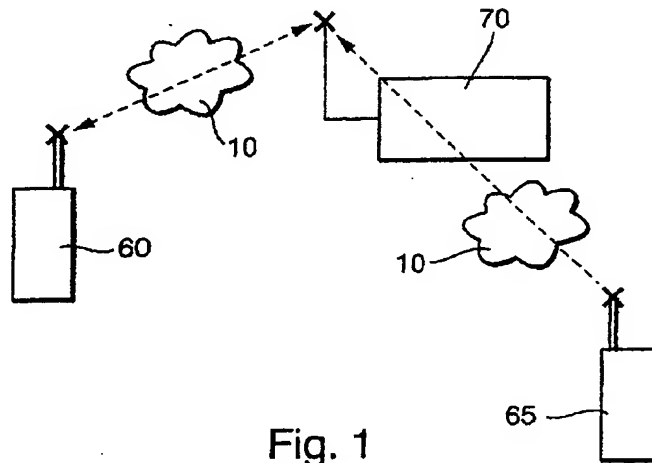


Fig. 1

【図2】

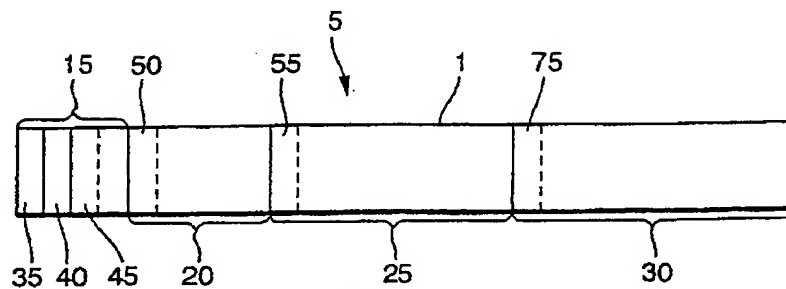


Fig. 2

【図3】

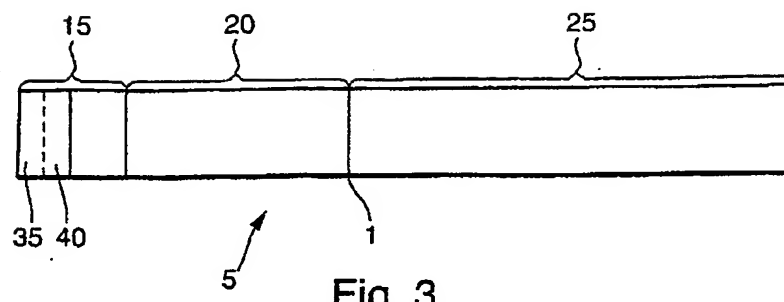


Fig. 3

【手続補正書】特許協力条約第34条補正の翻訳文提出書

【提出日】平成12年12月1日(2000.12.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】 例えば無線通信ネットワークなどの通信ネットワーク(10)におけるショートメッセージ(5)の伝送用伝送フレームにおいて、少なくとも2つのデータフィールド(15, 20, 25, 30)が設けられており、これらのデータフィールド(15, 20, 25, 30)には1つのショートメッセージ(5)のデータが格納されており、

該ショートメッセージ(5)の第1のデータフィールド(15)には第1のデータフォーマットのデータが格納されており、該ショートメッセージ(5)の第2のデータフィールド(20)には該第1のデータフォーマットとは異なる第2のデータフォーマットが格納されていることを特徴とする、伝送フレーム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項12】 例えば無線通信ネットワークのような通信ネットワーク(10)におけるショートメッセージ(5)の伝送のための伝送フレーム(1)を有する、例えば無線ユニットなどの通信装置(60, 65, 70)において、該伝送フレーム(1)に少なくとも2つのデータフィールド(15, 20, 25, 30)が設けられており、該データフィールド(15, 20, 25, 30)にはショートメッセージ(5)のデータが格納されており、

該ショートメッセージ（５）の第１のデータフィールド（１５）には第１のデータフォーマットのデータが格納されており、該ショートメッセージ（５）の第２のデータフィールド（２０）には第１のデータフォーマットとは異なる第２のデータフォーマットのデータが格納されていることを特徴とする、通信装置。

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

2

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

G (Classification) DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category *		Relevant to claim No.
A	<p>COLLESEI S ET AL: "SHORT MESSAGE SERVICE BASED APPLICATIONS IN THE GSM NETWORK" IEEE INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON PERSONAL, INDOOR AND MOBILE RADIO COMMUNICATIONS, XX, XX, vol. 3, 18 September 1994 (1994-09-18), pages 939-943, XP000612265</p> <p>page 942, left-hand column, line 13</p> <p>right-hand column, line 5</p>	5

Form PTO/BA/210 (continuation of standard form) (July 1992)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Continued on previous page(s)

Intern. and Appl. No.

PCT/DE 99/03328

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
US 5734545 A	31-03-1998	US 5603081 A	11-02-1997
		AU 681730 B	04-09-1997
		AU 1048095 A	23-05-1995
		BR 9405927 A	05-12-1995
		CA 2152946 A	11-05-1995
		CN 1116888 A	14-02-1996
		EP 0677222 A	18-10-1995
		FI 953264 A	30-06-1995
		JP 8508627 T	10-09-1996
		NZ 276272 A	27-04-1998
		NZ 329740 A	28-05-1999
		NZ 329741 A	28-05-1999
		WO 9512934 A	11-05-1995
		US 5655215 A	05-08-1997
		US 5923649 A	13-07-1999
		AU 680071 B	17-07-1997
		AU 1048395 A	23-05-1995
		AU 691850 B	28-05-1998
		AU 1087495 A	23-05-1995
		AU 685885 B	29-01-1998
		AU 1087695 A	23-05-1995
		AU 695892 B	27-08-1998
		AU 2079997 A	24-07-1997
		AU 2358897 A	14-08-1997
		AU 890924 B	07-05-1998
		AU 7757094 A	18-05-1995
		AU 7865898 A	15-10-1998
		AU 7865998 A	01-10-1998
		AU 697210 B	01-10-1998
		AU 8131394 A	23-05-1995
		AU 681721 B	04-09-1997
		AU 8131494 A	23-05-1995
		BR 9404316 A	04-07-1995
		BR 9405702 A	28-11-1995
		BR 9405703 A	28-11-1995
		BR 9405704 A	28-11-1995
		BR 9405705 A	28-11-1995
		BR 9405743 A	05-12-1995
		CA 2134695 A	02-05-1995
		CA 2152942 A	11-05-1995
		CA 2152943 A	11-05-1995
		CA 2152944 A	11-05-1995
		CA 2152945 A	11-05-1995
		CA 2152947 A	11-05-1995
		CN 1112345 A	22-11-1995
		CN 1117329 A	21-02-1996
		CN 1117330 A	21-02-1996
		CN 1117331 A	21-02-1996
		CN 1124074 A	05-06-1996
		CN 1117332 A	21-02-1996
WO 9834422 A	06-08-1998	AU 6214998 A	25-08-1998
		EP 0956719 A	17-11-1999

Form PCT/IS2810 (patent family circle May 1999)

フロントページの続き

(72) 発明者 ホルガー シュルツ
ドイツ連邦共和国 ベルリン シュロスシ
ュトラーセ 37

(72) 発明者 ラルフ フィッシャー
ドイツ連邦共和国 パート ザルツデート
フルト フォア デム アイヒベルク 10

(72) 発明者 グンナー シュミット
ドイツ連邦共和国 ヴォルフエンビュッテ
ル ツィーゲンベルク 6

F ターム (参考) 5K028 BB06 CC02 CC05 KK12 MM05
MM08 MM12
5K047 BB01 DD02 HH01
5K067 AA21 BB04 DD51 DD52 EE02